



流れには逆らえない

本誌前号でも述べたが、市場は正直なもので世界の資金の流れを正しく反映する。時に市場があるべき資金の流れに反することがある。それは大手証券や銀行のアナリストが資金のあるべき流れに反して間違ったアドバイスをするからである。しかし間違いは流れには逆らえず市場は必ずあるべき流れに戻る。

12月21日の日本経済新聞、「市場展望」で来年の有望業種は何かを大手証券や銀行・生保のアナリスト諸氏に聞いた結果が出ていたが、車、不動産、銀行が最有望であると発表されている。

FRB（米連邦準備理事会）を筆頭に、日本を除く先進国は2008年から5年以上続けてきた金融緩和政策の出口を模索している。

つまり本来不況時の期限限定、つまりカンフル剂的金融緩和は始めた時からいずれ止めることが決められた政策である。来年からは先進国の金融緩和は出口に向かうことが決まっている。

つまり2014年は市場での緩和マネーの踊りの幕引きの年なのである。

カンフル剂的効果で健康を取り戻した肉体は次に何を求めるのか、それがこれからの市場の牽引車になる。

私は前号で「マネーから本物へ」と述べた。では本物とは何か、経済の本物とは何であろうか。

私は時間給7.30ドルで働く人間より10倍も優秀なのに時間コストが30セントでしかないロボットの話をした。 $7.3 - 0.30 = 7.0$ だから1台のロボットは時間当たり7ドル \times 10=70ドルの価値を産むことになる。

これからの市場は価値を産むもの、つまり本物によって動かされる。

従って世界の資金は緩和資金で賑わったNY市場を去って価値を産む市場へ移ることになる。マネーのNYからモノ造り日本、中国等アジアへ移るのである。

NYから日本に国際資本が流れれば円高になるのは当然である。

さてアナリスト諸氏のお勧め業種だが、車は円高でマイナス、不動産、銀行はマネーゲームのヘッジ先で価値を一切産まない。

残念ながら市場が国際資金の流れに従うのなら「市場展望」での諸氏の予測はすべて「落第」である。

明日発送開始！増田俊男の小冊子 Vol.52

『2014年、地殻変動必至！、、、これほど人生で重要な時は無い！』

現在、増田俊男の小冊子VOL.52を大好評先行受付中です。今から株も、金も、土地も原油も、そして円も上がる！誰よりも先に大儲けをして大混乱、大暴落を避けて売り逃げるタイミングとその後の財産処置！等の内容となっております。詳しいご案内、お申込みについては増田俊男事務所（Tel：03 3955-6686）までご連絡下さい。

「時事直言・サポーター」の皆様へ増田俊男からのお願い

「時事直言」のご愛読、心から感謝致します。

皆様のご支援のおかげで日本を愛する者の一人として世界を動かす「大物」の方々と「対等」に交流することが出来ます。

又今年も終わりが近くなり「お願いの時」が来ました。

2014年は「世界出直しの年」になります。

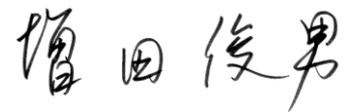
アメリカが財政の限界を乗り越えられるか、欧州ユーロ体制ははたして維持できるか、中国は力の政策だけで世界覇権に向かうのか、そうした激動の世界でアベノ丸の航海はどうなる。

2014年の行方を明確にするためご協賛賜った皆様は、「日本を愛するドン・キホーテ」と題して私を主人公にしたノンフィクション小説を贈らせていただきます。

2010年8月30日の欧州貴族会議を知ることになってから古くはFRB（連邦準備理事会）の裏工作まで知ることになり、世界と言うコインの表と裏を知りつつあります。皆様に「本当の世界」を是非とも知っていただきたいと思った上での発想です。

登場人物は：

主人公 M（私）、欧州貴族 R、スイス銀行 A、CITI（NY）G、バークレイ（英国）O、有名ブランド会社会長 P、欧州某国プリンス AB、NY取引所 W、BOE（バンク・オブ・イングランド）Y、ヘッジファンド M、ワシントン D.C.・シンクタンク H 等々が繰り広げるマネーと名誉を掛けた暗躍の物語です。



※お名前、ご住所等は**明確**にご記入ください。

不明確な場合は「特別レポート」を送付出来ない場合がございます。

＜「時事直言」協力金申込み＞

サポーター記入欄

フリガナ
お名前

ご住所 〒

TEL FAX

申込み口数 【1口 ¥3,000-（複数口歓迎）】

＜協力金振込先＞

三菱東京UFJ銀行 池袋西口支店 普通 3964107 カ)マスダトシオジムシヨ

「特別レポート」の発送は2014年2月を予定しています。

FAX 送信先:03-3955-6466

株式会社増田俊男事務所
info@chokugen.com